

2022年12月18日 午前礼拝  
「荒野の試練②」 説教者：堺希望伝道師

【引用聖句】

マタイ 4:5~7

5. すると、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせて、
6. 言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさせ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる』と書いてありますから。」
7. イエスは言われた。『あなたの神である主を試みてはならない』とも書いてある。」

【説教要約】

先回に引き続き、イエス様が荒野でご経験された悪魔の試練について見ていきます。

信仰を持つと、苦しみに遭うと聖書では断言されています。パウロは、福音宣教をしている最中、アンテオケ、イコニオムという町にいたパウロを憎む人々から石打ちにあつて、死ぬ目に遭いました。その後、その町に住むクリスチャンたちをこう励ましました。

使徒 14 : 22

22. 弟子たちの心を強め、この信仰にしっかりとどまるように勧め、「私たちが神の国に入るには、多くの苦しみを経なければならない」と言った。

この苦しみは、罪との戦いです。

ヘブル 12 : 4~7

4. あなたはまだ、罪と戦って、地を流すまで抵抗したことはありません。
5. そして、あなたがたに向かって子どもに対するように語られたこの勧めを忘れていません。「わが子よ。主の懲らしめを軽んじてはならない。
6. 主はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子に、むちを加えられるからである。」
7. 訓練と思って耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるでしょうか。

しかし幸いなことに、私たちの人生で起きる全ての苦しみは、神に知られているのです。そして、罪との戦いを進んで行く道も語られています。

ヘブル 12 : 2~3

2. 信仰の創始者であり、完成者でイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。
3. あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。

私たちは元々イエス様を十字架につけた人々同様、イエス様をただ苦しめる者でしたが、そのイエス様が私の為に死んでよみがえってくださったと信じた時から、イエス様と同じ道に移ったのです。前回から見ていますイエス様の荒野の試練は、私たちの人生に起きる試練の縮図なのです。

## ①

### マタイ 4 : 5~7

5. すると、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせて、
6. 言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさせ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる』と書いてありますから。」
7. イエスは言われた。『あなたの神である主を試みてはならない』とも書いてある。」

イエス様が連れて行かれた神殿は、紀元 70 年に戦争で破壊され、今日では「嘆きの壁」として城壁の一部だけが残されています。当時、この神殿にイスラエル中の人々や国外にいるユダヤ教徒たちが来て、毎日いけにえをささげていました。神に祈りをささげながら、救い主が来られるのを待っていました。

その、神の神殿の高い場所に立たせて、「飛び降りてみなさい」と言うのです。みことばを使って。神殿の高さはおよそ 50 メートルあったらと言われています。普通ならば、無事では済みません。なぜ悪魔は「飛び降りてみなさい」とイエス様に言ったのか。

それは、飛び降りたイエス様が天使によって守られたならば、それを目撃した人たちに証ができるからです。神の子だから、奇跡が使える。神様が特別な力で守られている。

もし、たとえば私が今ここで傷を治したり、手から光が出たりしたら、「あの人は特別なんだ」とか「神様はやっぱりいるんだ」と思うのではないのでしょうか。「奇跡を見れば、すぐに救い主としての働きは成功するでしょう」と悪魔はささやいているのです。

しかも、悪魔はみことばを引用しています。これは詩篇 91 篇からの引用です。そこには、神の守りの一つとして、「天使によって足が傷つかないように守られる」とあります。

しかしイエス様がそれにお答えになったのは、「あなたの神である主を試みてはならない」というみことばでした。

## ②試みるとは

イエス様が引用されたのは、申命記からのみことばでした。

### 申命記 6 : 16~18

16. あなたがたがマサで試みたように、あなたがたの神、主を試みてはならない。

17. あなたがたの神、主の命令、主が命じられたさとしとおきてを忠実に守らなければならない。
18. 主が正しい、また良いと見られることをしなさい。そうすれば、あなたはしあわせになり、主があなたの先祖たちに誓われたあの良い地を所有することができる。

神を試みるとはどういうことでしょうか。

16 節にある、「マサで」とは、出エジプト記の 17 章に書いてある出来事です。

### 出エジプト記 17 : 1~7

1. イスラエル人の全会衆は、主の命により、シンの荒野から旅立ち、旅を重ねて、レフィディムで宿営した。そこには民の飲む水がなかった。
2. それで、民はモーセと争い、「私たちに飲む水を下さい」と言った。
3. 民はその所で水に渴いた。それで民はモーセにつぶやいて言った。「いったい、なぜ私たちがエジプトから連れ上ったのですか。私や、子どもたちや、家畜を、渴き死なせるためですか。」
4. そこでモーセは主に叫んで言った。「私はこの民をどうすればよいのでしょうか。もう少しで私を石で打ち殺そうとしています。」
5. 主はモーセに仰せられた。「民の前を通り、イスラエルの長老たちを幾人か連れ、あなたがナイルを打ったあの杖を手にとって出て行け。
6. さあ、わたしはあそこのホレブの岩の上で、あなたの前に立とう。あなたがその岩を打つと、岩から水が出る。民はそれを飲もう。」そこでモーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのとおりにした。
7. それで、彼はその所をマサ、またはメリバと名づけた。それは、イスラエル人が争ったからであり、また彼らが、「主は私たちの中におられるのか、おられないのか」と言って、主を試みたからである。

ご存知の通り、神様は昔イスラエル民族を大いなる奇跡によって奴隷から解放されました。これは私たちでいうところの、イエス様による救いです。脱出した後は、前には海、後ろには追手の軍隊と言う四面楚歌の状況で、海を分かれさせて道を作られるという奇跡によって救われました。追手の軍隊は海に飲まれて全滅しました。

そしてこの 17 章の直前には、食べ物のごとで文句を言うイスラエルを救われたばかりでした。文句を言うイスラエルに、神様は天からマナというパンを降らして、飢えないようにされたのです。しかし、その直後、今度は水でした。旅をしているのは荒野。そして行けども行けども水がなかったのです。それで民は不安になり、不満が募り、文句を言います。

### 出エジプト記 17 : 3

3. 民はその所で水に渴いた。それで民はモーセにつぶやいて言った。「いったい、なぜ私たちがエジプトから連れ上ったのですか。私や、子どもたちや、家畜を、渴きで死なせるためですか。」

彼らの文句に注目すると、「なぜ私たちがエジプトから連れ上ったのですか」です。今まで経験してきた恵みのすべてを忘れてしまって、「奴隷のままの方が良かった」と言っている

のです。

読んでみると、どうして信じないんだろうとあきれてしまう程です。ずっと神様の奇跡を見て体験してきたし、食べ物を天から降らせることができるなら、水も与える事ができるに決まっているじゃないか、と。しかし、これと同じことが私たちの人生でも起こりうることをこの箇所は教えています。彼らがしたことは、神を試みることでした。

### 出エジプト記 17:7

7. 7 それで、彼はその所をマサ、またはメリバと名づけた。それは、イスラエル人が争ったからであり、また彼らが、「主は私たちの中におられるのか、おられないのか」と言って、主を試みたからである。

「主は私たちの中におられるのか、おられないのか」。つまり「神は私を愛しているのか、いないのか」「神は私の味方なのか、敵なのか」ということです。

ご存知の通り、散々神様はイスラエルに恵みを下さいました。しかしまだイスラエルは神様への信頼、つまり信仰が養われていなかったのです。

なぜなら、「私は水が欲しいのに、神はくださらない。だから神は私を愛していないし、神に救われない方がましだった」と言っているのと同じだからです。

では神様はイスラエルを愛していないから水のない場所に導かれたのでしょうか。そうではありません。民が文句を言った後、神はモーセに一つの岩を杖で打つように命じます。すると岩から水が出て来て、民は渇きで死なずに済むのです。

神の愛は、私たちが欲しいと思ったものや、私たちの計画通りに与えることではありません。それでは神様は人間の奴隷です。そうではなく、水のない場所で水を下さったように、神だけがあなたに必要なものを、必要な時に与えて養ってくださるということを教えられます。それが神の愛です。

本当に必要なものは、人が欲しいと思ったものではなく、神との信頼関係なのです。

### ③

イエス様の試練に戻ります。

悪魔がイエス様に提案したことは、「奇跡を起こさせることによって、人々から認められたらどうか」ということでした。私も昔思ったことがあります。イエス様はよみがえった後、弟子たちにだけ姿を見せましたが、自分を十字架につけた人々や民衆にも姿を現わした方が、よほど効果的だったのではないかと。

しかし、この試練が試しているものは神様との信頼関係なのです。イエス様は「奇跡を起こさせたらどうか」というささやきに、「神を試みてはならない」という返事をされました。自分の計画を神が実行されるのではなく、神の計画を自分が実行するのです。

イスラエルの人々は、飲み水がない時に追い詰められて「神は私たちの言う通りにしてくれない！」と不満になったのです。今、イエス様が試されていることも同じなのです。人に良さそうに思える計画のために、神を言いなりにしようとする誘惑です。

事実、神様が栄光を現された方法は、輝かしい奇蹟によるものではありませんでした。ひたすら神と人に仕え、ののしられ、罪を犯したことの無い方が十字架につけられることを通して、でした。イエス様は、完全に神様を信頼し切っておられたのです。

最後に、悪魔が引用した聖句ですが、これはもともと、「神に信頼する人を、神は人生すべてにおいて守られる」という信頼関係の詩篇なのです。少し長いですが、ご一緒にお読みしたいと思います。

### 詩篇 91 : 1~16

1. いと高さ方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。
2. 私は主に申し上げよう。「わが避け所、わがとりで、私の信頼するわが神」と。
3. 主は狩人のわなから、恐ろしい疫病から、あなたを救い出されるからである。
4. 主は、ご自分の羽で、あなたをおおわれる。あなたは、その翼の下に身を避ける。主の真実は、大楯であり、とりでである。
5. あなたは夜の恐怖も恐れず、昼に飛び来る矢も恐れない。
6. また、暗やみに歩き回る疫病も、真昼に荒らす滅びをも。
7. 千人が、あなたのかたわらに、万人が、あなたの右手に倒れても、それはあなたには、近づかない。
8. あなたはただ、それを目にし、悪者への報いを見るだけである。
9. それはあなたが私の避け所である主を、いと高さ方を、あなたの住まいとしたからである。
10. わざわいは、あなたにふりかからず、えやみも、あなたの天幕に近づかない。
11. まことに主は、あなたのために、御使いたちに命じて、すべての道で、あなたを守るようにされる。
12. 彼らは、その手で、あなたをささえ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにする。
13. あなたは、獅子とコブラとを踏みつけ、若獅子と蛇とを踏みにじろう。
14. 彼がわたしを愛しているから、わたしは彼を助け出そう。彼がわたしの名を知っているからだ。わたしは彼を高く上げよう。
15. 彼が、わたしを呼び求めれば、わたしは、彼に答えよう。わたしは苦しみのときに彼とともにいて、彼を救い彼に誉れを与えよう。
16. わたしは、彼を長いのちで満ち足らせ、わたしの救いを彼に見せよう。